

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 25. 3. 22 第 183 回国会第 3 号

3 月 22 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 26 号）

- ・岸田外務大臣、鈴木外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 岸 信 夫君（自民）

- ・在ベレン日本国総領事館を廃止するに当たり、現地政府等に対する説明はどのような状況にあるのか。
- ・我が国の外交を強力に推進していこうとする観点からすると、在外公館の新設についてスクラップ・アンド・ビルドの考え方をとるのは間違いではないかと思うが、岸田外務大臣の見解について伺いたい。
- ・在外公館における情報収集に関連し、自衛官が外務省へ出向して防衛情報の収集等に当たる防衛駐在官の活用の在り方について外務省の見解を伺いたい。

### 菊 田 真紀子君（民主）

- ・平成 25 年度予算にはアイスランドと南スーダンに大使館の実館を新設する経費が計上されているが、両国へ新設することとされた理由は何か。
- ・治安情勢など厳しい勤務地で働く職員や女性職員が働きやすい環境整備を行ってほしいが、岸田外務大臣の所感を伺いたい。
- ・国会開会中といえども日本の顔として外務大臣等が海外で活躍することは必要ではないかと思うが、岸田外務大臣の所感を伺いたい。

### 浦 野 靖 人君（維新）

- ・我が国の大使館増設について、具体的にはどのような地域への設置を重点的に行うつもりなのか。
- ・対中国・韓国外交について、今後の基本的な方針を岸田外務大臣に伺いたい。
- ・T I C A D V 閣僚級準備会合において、得ることのできた成果及び手応えについて伺いたい。

### 山 内 康 一君（みんな）

- ・在ベレン日本国総領事館を在留邦人へのサービスの低下を招かずに出張駐在官事務所化することが可能であるならば、もっと早く移行すべきであったのではないかと。
- ・治安の比較的良好な英語圏の国に特に多く設置されている我が国の在外公館を削減し、不便な環境で在留邦人側のニーズが高い途上国に在外公館を増設すべきであると思うが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・在外公館へ出向する他省庁等の職員のうち、語学が不十分であるなど適格性を欠く職員を排除する必要があるのではないかと。

### 笠 井 亮君（共産）

- ・安倍政権としての在外公館の整備に係る基本方針はいつ頃までを目途にまとめるつもりなのか。
- ・オスプレイについて、「沖縄以外の場所で飛行訓練を行う可能性を検討する」との日米合同委員会合意に対する検討状況及び日本の自衛隊が共同で訓練を行う可能性について伺いたい。
- ・上記合意にある「日本政府の支援」とはどのような内容の支援になるのか。また米側から支援の内容について具体的な要望があるのか。

### 玉 城 デニー君（生活）

- ・在ベレン日本国総領事館の廃止が地域の在留邦人や我が国の対ブラジル外交に影響を及ぼさないようにどのような対策を講じるのか。
- ・在外職員やその家族への安全対策に関連し、尖閣諸島領有権問題の顕在化により中国における反日デモが多発した際にはどのような措置がとられたのか。
- ・ミクロネシアなどの太平洋島嶼国との関係強化に向けた岸田外務大臣の意気込みについて伺いたい。